



独占禁止法とは

独占禁止法の正式名称は、
「私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律」

独占禁止法の目的は、公正かつ自由な競争を促進し、事業者が自主的な判断で自由に活動できるようにすることです。

独占禁止法に違反する行為



カルテル

・商品の販売において競争関係にある企業同士が**販売価格や販売数量、販売地域**などを話し合っ**て決める行為**。

販売価格の拘束

・メーカーが販売店に対して、**販売価格を強要したため、販売店間で価格の競争がなくなる**。

抱き合わせ販売

・人気の商品と不人気の商品を**一緒に販売**すること。

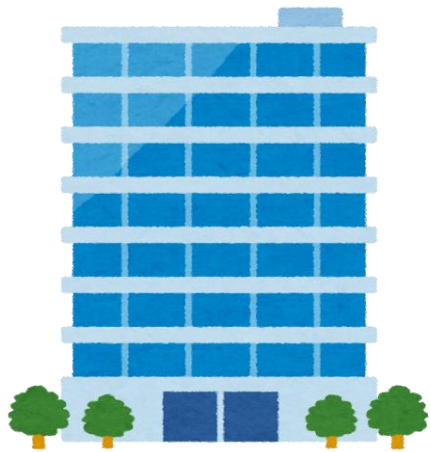
入札談合

・入札に参加する企業が、入札前に**どの企業がいく**らで工事をするかを話し合っ**て決めてしまい、競争をやめてしまうこと**。

などがあります。

再販売価格の拘束 事例

アイスクリーム製造大手のH社は、小売店を巡回し、希望小売価格より安く売っている小売店に対し、同社の定める希望小売価格で売るように要請していました。それに**応じない小売業者には、商品の出荷を停止したり、H社が行っていた店員の派遣を中止する**などしていました。これらは**独占禁止法2条9項4号に違反**します。



アイスクリーム製造大手
H社

希望小売価格で売るように要請。
応じない場合、出荷の停止や店
員の派遣を中止。



小売店

抱き合わせ販売 事例

卸売業者Aが、大人気だったゲームソフトに売れ残っているゲームソフトを抱き合わせた上で、小売業に対して販売した。

小売業者Bにとって必要のないゲームソフトを半強制的に購入させていた点で、不当な抱き合わせ販売として独占禁止法第19条に違反すると判断されました。



卸売業者A

人気のゲームと不人気のゲームソフトを一緒になければ売らない。



小売業B

人気ソフトだけほしいのに💧



公正取引委員会

独占禁止法や下請法を運用して、経済活動が公正に行われるように監視、消費者の利益を守る国の機関を公正取引委員会といます。

他から指揮監督を受けることなく、**独立して職務を行う特色**があります。

独占禁止法違反行為により不当な扱いを受けた場合は**こちら**にご連絡ください

公正取引委員会事務総局 官房総務課
電話：03-3581-5471（代表）

